

## 実績報告書

(総合型地域スポーツクラブ活動事業)

事業細目名	総合型地域スポーツクラブ活動
事業名	サッカー育成事業・星空スポーツ広場・スポーツ塾
クラブの名称	NPO法人浦和スポーツクラブ
会員数(性別・年齢構成)	総数1200名(男性500名、女性700名/3歳～84歳)
種目名	サッカー、テニス、フィットネス、バレエ、太極拳他
クラブの活動地域	さいたま市浦和区北浦和東部地区
活動拠点となる施設とその概要	クラブハウス スタジオ(700㎡ 30坪) さいたま市駒場運動公園サブグラウンド(人工芝サッカー場1面) 北浦和小学校・本太小学校・中尾小学校 体育館 県立浦和高校(サッカー場1面、体育館)
運営委員会等の構成とクラブ運営組織図概要	理事会(理事12名、監事2名) 運営委員会(総務、サッカー、テニス、フィット各4～8名)
実施期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日 (助成期間 2年目)
事業の成果	<p>(1) サッカー育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として毎週水、金、土、日に県立浦和高校、私立常盤北小などのグラウンドを使用し、概ね2時間程度の活動を行った。</li> <li>・今年度は、高校生も増加し、市民大会等へも参加でき、高校などで部活動等をやめてしまった子どもたちに再度チャレンジする場を提供する役割も果たすことができるようになってきた。</li> <li>・また、小学生向けのスクールも好評であり、少年団等に参加していない子どもたちも少なくなく、新たにサッカーを始める機会提供などの効果もあった。</li> </ul> <p>(2) 星空スポーツ広場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週土曜日の夜に、県立浦和高校の体育館とグラウンドを使用し、クラブ会員以外も広く地域住民が誰もが参加できるスポーツ広場を開催。</li> <li>・親子で同じ種目に参加したり、家族のそれぞれが自分の好きな種目に参加するなど、家族で楽しむ姿が増えてきた。</li> <li>・特に、サッカーを始めた小学校低学年層において、父親と一緒に参加する姿などが目立ってきた。</li> </ul> <p>(3) 浦和スポーツ塾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民やクラブの会員、指導者を対象にして、スポーツ関連の各分野の専門家を招へいし、実施した。</li> <li>第1回 8月9日 落雷対策について</li> <li>第2回 10月10日 地域スポーツクラブについて</li> <li>第3回 12月10日 成長期のスポーツ障害</li> <li>第4回 2月20日 スポーツ指導の12章</li> <li>・地域スポーツの現場では、なかなか聞くことができないスペシャリストの話をきくことができた。特に、第3回の加藤氏(日本サッカー協会医事委員)のお話は、国内の最先端かつトップクラスの選手への対応もされている氏の知見を伺うことができる大変貴重な機会となった。</li> </ul>

事業に対する評価	<p>(1) サッカー育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少年団に参加しづらい子どもたちや、少年団では技術指導が物足りないこともたちに個人技術をしっかりと教える場を提供できていることは、地域の中でそのほかの組織ができていない部分を補間しているものと言える。</li> <li>同様に、ユース世代（高校生）を対象とする U18 コースにおいても、部活動などをやめてしまった子どもたちに、再チャレンジの場を提供することができていることも、役割として大きいものと思われる。</li> </ul> <p>(2) 星空スポーツ広場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親子の参加や家族での参加が増えており好評である</li> <li>また、バドミントンや卓球では、中学校の部活動などで専門的指導を受けられない生徒が、指導を受けたくてきている例などもみられ、競技面でも効果を発揮している。</li> <li>一方で、2年目をむかえ、やや参加者数に減少がみられ（常連的参加者はいる）、PRが不足していることも推察された。</li> </ul> <p>(3) 浦和スポーツ塾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎回、専門的な話しを伺うことができ、受講者には大変好評である</li> <li>しかし、広報等にやや課題があり、参加者が固定化しており、もっと広く地域のスポーツ関係者にきいてもらわないと、もったいないという評価もでており、今後の課題とも言える。</li> </ul>
ロゴマーク等の表示方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場にバナーを掲示</li> <li>毎月のクラブニュースに掲載</li> </ul>
事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブの詳細な決算結果は、総会資料として会員に配布</li> <li>同資料を、ホームページにて公開</li> <li>クラブニュース（毎月 1500 部発行）にも概要を周辺のスポーツ関係者にも配布。</li> </ul>
備考	

○実施した事業内容

- ・運営委員会等の開催 → 助成事業対象となっている会議はない。

委員委嘱数	開催回数（時間数）	一回当たりの出席者数	開催場所	備考
(検討した協議内容について、具体的に記入)				

- ・クラブマネージャーの設置及び有資格指導者の配置

指導者	設置・配置の趣旨・目的	設置・配置場所	設置・配置日数
中山 藍	プログラム全体のコーディネート 教室での指導	クラブ事務局	月～金の週5日

- ・スポーツ教室、スポーツ大会等の開催 → 助成事業対象となっている教室等はない。

教室、大会名	指導者資格名	開催日数・回数	対象者	参加者数	開催施設

- ・その他の事業（具体的に記入）

独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長 殿

申請者名 特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ  
理事 戸苺 晴彦

## 平成 21 年度スポーツ振興くじ助成金に係る助成事業実績報告書

平成 21 年 4 月 17 日付け日振事助 第 4 号で交付の決定を受けた標記助成金について、事業が終了しましたので、スポーツ振興くじ助成金交付要綱（平成 15 年度要綱第 18 号）第 15 条第 1 項の規定により、関係資料を添えて下記のとおり報告します。

## 記

事業細目名	交付決定額 (A) 円	実 績		備 考
		支出額 (B) 円	差引 (A-B) 円	
総合型地域スポーツ クラブ活動事業	7,200,000	7,200,000	0	
計	7,200,000 円	7,200,000 円	0 円	

(注) 1 この報告書の提出に当たっては、交付決定した事業細目におけるすべての事業が終了した後に提出するものとする。ただし、地域スポーツ施設整備事業については、各工事終了ごとに提出するものとする。

2 添付書類は、別表に記載のとおりとする。

添付書類：事業状況について

1. サッカー育成事業

(1) 実施日数	1月	15回
	2月	17回
	3月	14回
	期間計	46回

(2) 指導者数 98人回

(3) 参加状況

水曜日	小5～小6 スクール U15、U18	30名前後が参加 10～20名が参加
金曜日	U15	10名程度が参加
土日祝	〃	20名程度が参加〃

(4) 活動の様子



## 2. 星空スポーツ広場事業

(1) 実施日数            1月    3回  
                              2月    4回  
                              3月    4回  
                              期間計 13回

(2) 指導者数            79人回

(3) 参加状況            バドミントン        20名前後が参加  
                              キッズテニス        10名程度が参加  
                              卓球                20～30名が参加  
                              サッカー            40～60名が参加

(4) 活動の様子



### 3. スポーツ塾

#### (1) H21 年度第 4 回 (通算 16 回)

実施日時 2 月 20 日 18 時半～

場 所 県立浦和高校 同窓会館

講 師 松本光弘 平成国際大学スポーツ科学研究所教授

(財)日本サッカー協会参与、前規律・フェアプレー委員長

演 題 「スポーツ指導の 1 2 章」

参加者 20 名

実施状況

